



生活者ネットワーク 国分寺市議会議員

マサーヨがゆく Vol.3

TAKE FREE

日々の暮らしと政治はつながっています。これは、マサーヨこと小坂まさ代が、市政のことをより身近に感じていただけたらとの思いをこめて、仲間たちと作ったレポートです。ひとりひとりが自分らしく生きていける社会にしていけるために、あなたの声を聞かせてください。



「子どものけんり なんてやねん！すごろく」で遊ぼう！

子どもの権利は世界中のすべての子どもが生まれながらにして持っている、幸せに生きるために何度でも使えるチケットのようなもの。生活の中で感じている「なんてやねん！」と思うこと、みんなでだしあってみよう。子どももおとなも、だれでもきてね。

- 日時：11月13日(日) 10:30～12:00
- 場所：国分寺・生活者ネットワーク事務所



お気軽にご参加ください。お申し込みはこちらから

事務所に遊びにいらっしやいませんか？

マサーヨがきく ご予約不要！

2022/10/27 (木) 10:30～18:30
11/13 (日) 13:00～18:30

お子さん連れ大歓迎！お気軽におしゃべりしにお立ち寄りください。自転車置き場あります。西国分寺駅徒歩1分。お待ちしております♪

お問い合わせフォーム <https://kokubunji.seikatsusha.me/contact/>
国分寺市泉町 3-33-16 西国分寺ハイツ 103 TEL: 042-328-1864

小坂まさ代 青春エッセイ

「動物園のとなり」



私の通っていた都立高校は、学園紛争の名残で校則も制服もなかった。茶髪もパーマも化粧も許され、禁止されていたのは、バイク通学だけだったと思う。校訓は「自主協調」だった。それまで、東京の端にある校則のやたら厳しい公立中学で、大人の言うことをよく聞くだけの優等生だった私は、何の縛りもない環境でどうふるまってもよいかわからなくなり、無気力になった。勉強に身が入らなくなり、1年の夏が終わる頃に部活も辞め、ただただファッション誌をめくり、アルバイトに明け暮れた。古い校舎は卒業を待たずに壊された。体育祭も文化祭も参加した記憶がない。放課後よく足を運んだ上野の名画座も、アルバイトをしていた北千住駅前のマクドナルドも、今はもうない。

遅刻や欠席は日常茶飯事だったから、母親が何度か学校に呼ばれた。「君は、今はやらなくてもいい、やる気になりさえすれば、自分ではできる人間だと思っているかもしれませんが『やればできる』と『できない』は同じことなんですよ」と担任だった漢文の先生は穏やかな口調で言った。親からはそれまでもそれからも「勉強しなさい」とか「学校へちゃんと行きなさい」などと言われたことは一度もなかったが、先生の言葉はずりりと残り、3年の夏休みからようやく受験勉強を始め、運良く合格し、卒業後は鳥の絡まるチャペルのある大学へ進学した。

数年前、同窓会で先生と30年ぶりに再会し、一献傾けた。「先生のあの言葉は、今でも私の中にあります」と伝えると、飄々と「そんなこと、言いましたか」と目尻を下げておっしゃった。「あの頃は、自由でいい時代でしたね」とも。

母校の高校は、今では制服も校則もあるという。久しぶりにあの辺りを歩いてみたら、思い出のかけらくらいは見つかるだろうか。授業をさぼってよく訪れていた、彫刻家のアトリエを改装した小さな美術館は、まだあるはずだ。

小坂まさ代 国分寺の暮らし

第一子の妊娠中、壁一面作り付けの本棚のある古いアパートと出会い、緑の無い国分寺に転居。産後「本の好きな方なただでもどうぞ」という看板を近所で見つけ、家庭文庫に通うようになる。同じ頃、市報で見つけた本多公民館の連続講座「幼い子のいる親のための教室」に参加。その後は子育てをしつつ、渋谷区の親子支援センターや児童館での仕事の傍ら、興味のおもむくまま、ぶんハビねっとの地域ライターとして活動したり、古書まどそら堂での「ほろ酔い夜話(朗読会)」、アフターケア相談所ゆずりはでの「憲法カフェ」、クルマドコーヒーなどの「子どもてつがく」など小さな集まりを企画したり、PTA活動をしたり、公園や保育園でお話し会をしたり。昨年、子ども関係の催しや勉強会で関わってきた生活者ネットワークから市議補選に立候補し当選。厚生文教委員会、新庁舎建設等特別委員会所属。

●詳しいプロフィールは、こちら <https://kosaka.seikatsusha.me/profile/>

生活者ネットワークの活動

生活者ネットワークは市民の手で市民のための政治を担う政治団体です。国分寺では約35年に渡り活動しています。子どものこと、仕事のこと、食べ物のこと、ゴミのこと…身近な問題をみんなで考え、活動・提案し解決してきました。現在、高瀬かおる(市議)、小坂まさ代(市議)、岩永やす代(都議)3人の議員とともに活動しています。調査や見学会、学習会など楽しい活動がたくさん!!お気軽にご参加ください。

あなたの声を市政・都政へ



子育てカフェを開催します。お気軽にご参加ください。

11/8 (火) 10:30～11:30 国分寺の不登校を考える会 渡邊美樹さんのお話し ●オンライン併用 ●詳細は国分寺・生活者ネットワークまでお問い合わせください。

しぎひぎいん 市議会議員って、どんなしごと?

市のきまりごとをつくったり、市のお金の使いかたをチェックしたり、市役所の仕事を調べたり。市民の代理人としてみなさんの声を届け、まちのしくみを考え、暮らしやすいまちにしていきます。「こんなことに困っている」「どこに相談にいったらよいかわからない」「市政ってどうなっているの?」などなんでも聞かせてください。いっしょに考えていきたいです。

「ひとこと提案」から政策提案に!

「ベビーカーや車椅子で安心して通れる道路にしてほしい」「子育てや介護の悩みを受け止めてくれたらな…」

このようなみなさまからの「ひとこと」は、①市で解決できること ②東京都や国で解決することに整理して、それぞれ市議会・都議会で提案・質問しています。ぜひお気軽にお声がけください。

「ひとこと提案」からこんなことが実現しました

みなさまのお声をもとに生活者ネットワークの議員が市に提案し、実現できたことの一部をご紹介します。

- 生ごみたい肥化事業の推進と廃食用油の回収(バイオディーゼル化)、せん定枝のたい肥化実現。生ごみの収集拠点拡充。家庭用生ごみ処理機への助成も継続中。
- 「食品ロス対策」の実施を提案。環境まつりから地域センター等でのフードドライブにつながる。現在、社会福祉協議会で申込制の食料支援実施中。
- 公共施設の自動販売機にペットボトルを使用しないことを提案。順次改善中。
- ヤングケアラーについての講演会や関係機関職員向けの研修・講座等を実施。
- 不登校児童・生徒対象の国分寺市教育支援センター「適応指導教室」の名称変更を提案→「トライルーム」に。
- 2050年カーボンニュートラルの実現に向け、「地球温暖化防止行動計画(市域版)」の策定に向け基礎調査がスタート。
- 「香り」の害から健康を守るための啓発・周知。
- 動植物調査の提案→実施。
- ひとり親家庭のニーズ把握調査提案→実施。